

12 月 13 日 : 下落して週を終える

VN 指数は金曜日、大型株の売り圧力に耐えることが出来ず、下落して引けた。

ホーチミン市場の VN 指数は 0.21% 下落し 966.18 ポイントで引けた。出来高は 2 億 1,920 万株、売買代金は 4.2 兆ドン (1 億 8,130 万ドル) だった。

同指数は前日の木曜日、0.66% 上昇し 968.17 ポイントで引けていた。

市場の勢いは弱く、174 銘柄が下落したのに対し上昇したのは 146 銘柄だった。

大型株で構成する VN30 指数は、0.48% 下落し 880.55 ポイントで引けた。

取引開始後は、VN 指数は BID、VCB、CTG などの銀行株が下支えし上昇して始まった。

しかし、後場になると VHM、VNM、HPG、KDC、NVL などの売り圧力が高まり、上昇基調を維持することはできなかった。

BIDV 証券 (BSC) によると、アメリカと中国の貿易紛争の解決に向けた第 1 段階の合意というマクロ経済面からポジティブなニュースがあったものの、先週からの外国人投資家の売り圧力を吸収することは出来なかった。

「来週も先物の期日や ETF のポートフォリオ入替など多くのイベントが続き、市場は変動しやすい。」バオベト証券 (BVSC) のシニアアナリストのチャン・スアン・バック氏は語った。

VN 指数は来週も 955-971 ポイント付近で変動することが予想される。底値の形成と一層の上昇域に向かうには、970-971 ポイントの抵抗線を超える必要がある。

「しかしながら、先週末の売り圧力を考えると、951-955 ポイントの支持線の形成も意識されるだろう。」バック氏は語った。

セクター別では、25 セクターのうち保険、証券、小売、ヘルスケア、農業、建設資材などを含む 11 セクターが下落した。

反対に、不動産、鉱業、卸売、海産物加工、IT、物流など 13 セクターは上昇した。

ハノイ取引所では金曜日、HNX 指数が 0.22% 上昇し 102.94 ポイントで引けた。

出来高は 3,870 万株、売買代金は 3,710 億ドンだった。

同取引所は木曜日、0.32% 上昇し 102.71 ポイントで引けていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。